

2024. 6. 13

各位

神奈川県労働組合共闘会議
県共闘学習会（ご案内）

私たち労働者・労働組合に強く影響する労基法・労組法が改悪されるのか！
職場で労働者分断がさらに進むのか！！ 団結権が危ない！！！！

昨年10月、厚生労働省は「新しい時代の働き方に関する研究会」の報告書を公表しました。これを受け同省は今年1月「労働基準関係法制研究会」を立ち上げ、先月までに7回の会合を開催しています。この研究会の中心的目的は「労基法等の見直し・具体的な検討」とされています。昨年公表の報告書には抽象的な表現が多く「支える」「守る」「労使コミュニケーション」などの言葉を使い、労基法の規制を弱める、あるいは適用外にすることや、団結権、集団的労使関係の弱体化を起しかねない内容が読み取れます。研究会の内容、スピード感には警戒を強めていかねばなりません。

こうした動きも含め、自公政権がどのような労働政策を進めようとしているのか。私たち労働者・労働組合は、どう対抗していくのか。この学習会で、それらを学び、運動に生かしていきましょう。多くの皆さんの参加を呼びかけます。

記

- 日時 2024年7月4日（木）18：30～
- 場所 横浜市技能文化会館 603研修室
- 演題 自公政権の労働政策を問う
- お話 嶋崎量弁護士（日本労働弁護団常任幹事）

以上